



ハイテックプロセスをシンプルに。私たちは、「見る・測る・分析する」の コア技術で、社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献します

私たちの暮らしや産業に欠かせない半導体。高品質で安定して半導体が生産されるには、日立ハイテクの半導体製造装置や検査・計測装置が必要不可欠です。半導体産業を支えてきた笠戸地区では、高精度な微細加工を実現したプラズマエッチング装置を製品ラインアップとし、研究開発から製造・販売まで、お客様との協創で新たな価値を創造しています。



研究開発部 松村 尚紀さん:2023年入社(新卒) 広島大学大学院(機械工学専攻)

■入社のきっかけ

大学時代、研究で扱っていた技術や知識を活かせる業界を考えながら就職活動をしました。最終的に製造装置メーカーを選んだのは、最先端の技術に携わりながら仕事ができることがやりに繋がると思ったからです。

■入社後のギャップ

大学での研究と違い、業務でのゴールはお客様の要望に応えることであり、そこに向かって回り道することなく進んでいく必要があることに学生時代とのギャップを感じています。

私の専攻はかなり物理寄りでした。装置開発でも、ウエハの表面反応を分析するという点で、化学系の知識が必要だったのも意外なところでした。



■現在の仕事について

半導体のエッチング装置の研究や開発をチームで行っています。チーム内外の関係者とのやり取りや議論も活発で、学ぶことが多くあります。他の業界と比べて半導体業界は成長スピードが速いので、積極的に物事を深く掘り下げることを意識しながら仕事に励む日々です。正解を探りながら進めることは、難しさを伴いますが、最先端技術に触れながら研究を進めることはやりに繋がっています。



2025年度から稼働予定の新製造棟

会社のよいところ

半導体分野では、加工から検査、解析工程を広くカバーする国内唯一の装置メーカーです。業務を通じてしっかりと研究ができることと、海外大学や研究機関で最先端技術を学ぶ制度など、日立グループでの充実した教育制度が設けられているところも非常に魅力的です。

後輩へのメッセージ

半導体エッチング装置は幅広い学問分野が関わる製品で、弊社では様々なバックグラウンドを持つ方が働いています。

- 自分の知識を生かして最先端の領域で仕事がしたい
- 社会へのインパクトが大きい仕事がしてみたい

という方は専攻に関係なく興味を持っていただける仕事だと思います！

【採用担当者より】日立グループは創業時から若手育成に力を入れており、従業員一人ひとりの人財価値を高めていくことが企業の持続的な価値創造に直結すると考えています。また、2025年にはエッチング装置の新しい製造棟が完成・生産開始予定です。進化した環境で皆さんとお仕事できることを楽しみにしています。



笠戸地区は、半導体デバイス生産に欠かすことのできない、エッチング装置の研究開発・設計・製造の拠点です。



企業情報

所在地:山口県下松市東豊井794番地(笠戸地区)
東京都港区虎ノ門一丁目17番1号(本社)
設立年月日:1947年4月
代表者:代表取締役 取締役社長 飯泉 孝
資本金:79億円
従業員数:(連結)15,083名(2024年6月)